

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回弘前市子ども・子育て会議
開 催 年 月 日	令和2年11月24日(火)
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時00分 から 15時15分まで
開 催 場 所	弘前市役所 前川新館6階 大会議室
議 長 等 の 氏 名	佐藤 三三
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 三三 会長 ・金子 泰雅 委員 ・笹森 麻野 委員 ・齋藤 昭 委員 ・古山 剛弘 委員 ・葛西 美樹 委員 ・グリゴレ イリナ 委員 ・三橋 扶弥子 委員 ・井澤 優子 委員 ・鈴木 一哉 委員 ・相馬 玲子 委員 ・對馬 大輔 委員 ・川内 佐希子 委員 ・鳴海 誠 委員
欠 席 者	なし
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	<ul style="list-style-type: none"> ・健康こども部長 三浦 直美 ・こども家庭課長 石澤 容子 ・こども家庭課長補佐 工藤 金極 ・こども家庭課長補佐 川田 哲也 ・保育係長 堤 健介 ・健全育成係長 吉村 友香 ・子育て相談係長 北畠 龍 ・保育係総括主査 長谷川 竜太 外
会 議 の 議 題	<p>(1) 弘前市子ども・子育て支援事業実績報告について</p> <p>(2) 弘前市の待機児童等の状況について</p>
会 議 結 果	事務局案で委員の了承を得る。
会 議 資 料 の 名 称	<p>資料1 弘前市子ども・子育て会議の役割について</p> <p>資料2-1 弘前市子ども・子育て支援事業計画について(事業概要)</p> <p>資料2-2 令和元年度 弘前市子ども・子育て支援事業計画 実績</p> <p>資料3 弘前市の待機児童等の状況(令和2年10月1日現在)</p>

<p>会 議 内 容</p> <p>(発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 健康こども部長挨拶 4. 会長・副会長選出 5. 案件 6. 閉会 <p>◀ 1. 開会 ▶</p> <p>【司会】 「令和2年度第1回弘前市子ども・子育て会議」を開会いたします。</p> <p>◀ 2. 委嘱状交付 ▶</p> <p>【司会】 会議に先立ちまして、委嘱状交付式を執り行います。 本来であれば、市長からの委嘱状交付となりますが、本日公務により欠席のため、健康こども部長から委嘱状を交付いたします。</p> <p>※事務局（健康こども部長）より、委員に委嘱状及び辞令を交付</p> <p>◀ 3. 健康こども部長挨拶 ▶</p> <p>【司会】 それでは、健康こども部長から挨拶を申し上げます。</p> <p>※健康こども部長挨拶</p>
---	---

≪ 4. 会長・副会長選出 ≫

【司会】

本会議の委員数は14名で、本日まで出席の委員は14名と半数に達しておりますので、会議成立といたします。

【司会】

続きまして、当会議の会長を選出したいと思います。

会長が選出されるまでの間、こども家庭課長が仮議長となり進行させていただきます。

【こども家庭課長】

会長選出までの間、暫時、仮議長を務めさせていただきます。

会長の選出につきましては、弘前市子ども・子育て会議条例第4条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」と規定されておりますので、委員の皆様にご発言を賜りたいと思います。

【委員】

佐藤三三委員を推薦いたします。

【こども家庭課長】

ただ今、佐藤三三委員の推薦がありましたが、皆様いかがでしょうか。ご異議がなければ拍手をもってご承認いただきたいと思います。

(満場一致で拍手有り)

(佐藤委員了承)

それでは、会長は佐藤委員に決定いたしました。

【こども家庭課長】

弘前市子ども・子育て会議条例第4条第3項に「会長は、会議の議長となり、会議を総務する。」とありますので、会長は議長席へ移動をお願いいたします。

【議長】

それでは、どうぞよろしくをお願いいたします。

【議長】

はじめに、弘前市子ども・子育て会議条例第4条第2項の規定により、副会長を皆様の互選により決定したいと思います。どなたかご推薦等ございますでしょうか。

【委員】

葛西美樹委員を推薦いたします。

【議長】

ただ今、葛西美樹委員の推薦がありましたが、皆様いかがでしょうか。ご異議がなければ拍手をもってご承認いただきたいと思ひます。

(満場一致で拍手有り)

(葛西委員了承)

それでは、副会長は葛西美樹委員に決定させていただきます。

【議長】

新たな委員となり最初の会議ですので、委員の皆様から簡単に自己紹介をいただきたいと思ひます。

(委員一人ずつ自己紹介)

◀ 5. 案件 ▶

○案件(1) 弘前市子ども・子育て支援事業実績報告

【議長】

案件(1)について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料1、2-1、2-2に沿って説明)

【議長】

令和元年度、令和2年度9月までの実績報告をいただきました。何かご質問、ご意見等ございますか。

【委員】

資料 2-1 実費徴収に伴う補足給付事業について。

資料中、事業の実施の有無について、「有」となっているが、幼稚園における副食費の助成と、文房具等の費用の助成、いずれも実施しているのか。

【事務局】

現在は、幼稚園における副食費の助成を行っている。文房具等の費用等の助成については、今後、事業実施について検討したい。

【委員】

報告内容としては、上下 2 段に分け、上段の文房具等の助成は「無」、下段の幼稚園の副食費の助成は「有」、というような提示方法であれば分かりやすい。

【事務局】

今後、状況に応じ、「一部有」というような記載方法を取りたい。

【委員】

一時預かりについて、意見をお伝えしたい。

子どもを預けようと色々調べ、予約をしようと施設へ電話もしたが、なかなか繋がらないなど大変な思いをした経験がある。自分で情報を集めなければいけない状況であり、安心して子どもを預けられるよう、一時預かりの情報がもっとあった方がいいと感じる。

【事務局】

市のホームページにも情報は掲載しているが、欲しい情報に辿り着くまでに、探しづらい面もあるのかと思うので、見やすい形ができるようにしていきたい。

【委員】

資料 2-1 ⑦ファミリー・サポート・センター事業について。

資料中で、実施の有無が「無」となっているが、非常に重要な事業であると思う。市での実施予定はあるのか。

【事務局】

類似の事業として、さんかくネットというものを他課で実施している。ファミリー・サポート・センターは、より大きな組織となるが、子どもを預かる側の人材が不足していることもあり、現在は事業としての実施はなされていない状況である。

【委員】

資料2-2 14ページの放課後健全育成事業について。
なかよし会・児童クラブ・児童センター・放課後子ども教室について、実施箇所数など詳細を教えてください。

【事務局】

堀越小学校など、児童館1か所、なかよし会2か所というように、1つの学校で複数箇所に分けて実施している例もあるため、実施箇所数は学校数と一致しない場合がある。

児童館・児童センターは23地区に23か所、放課後子ども教室は教育委員会の管轄となるが、学校の数とは若干異なっている。

なかよし会は、児童館以外で実施している学童保育のことである。児童館・児童センターは本来誰でも利用できる施設であるが、施設内に学童保育を設けており、その利用について児童クラブと呼んでいる。児童館・児童センターが23か所あるうち、1地区を除き22か所で学童保育を実施している。

【委員】

放課後子ども教室は、教育委員会の所管であるが、保護者の就労状況等に関わらず利用可能な事業となっている。

公共施設利用が4か所、学びと遊びの空間・居場所づくりということでのB i・B iっとスペースについて、小学校で実施しているものが6か所、中学校の教室を使用し実施しているスタディールームが7か所で、合計17か所という数字になっている。

【議長】

その他、資料中の表の見方などで、疑問等ありますでしょうか。

(発言無し)

【議長】

事務局からの説明について、こういった実績報告ということでご理解いただけたでしょうか。あとでまた一括してご意見を伺いたいと思います。

○案件（２）弘前市の待機児童等の状況について

【議長】

案件（２）について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（資料３に沿って説明）

【議長】

どなたかご意見・ご質問等ございますでしょうか。

（発言無し）

【議長】

よろしいでしょうか。待機児童、保留児童について、こういう現状にあるということをご理解いただければと思います。

○その他

【議長】

委員も代わり初めての会議でもあるので、全体を通してご意見・ご感想あればお伺いしたいと思います。

【委員】

初めて耳にする現状であったり、児童クラブ等の違いについてなどを知る良い機会となり、大変勉強になった。

【委員】

今日初めて知ったことも多く、今後、助言や発言が出来るような準備をして会議に臨みたいと思う。

【委員】

お互いに協力しながら良い環境で子ども達を育てていきたいと思っている。

	<p>【委員】 親や子にとって何が一番大切であるか、突き詰めて考えなければならぬ問題であると感じている。SOSが出せない母親などへ、手を差し伸べられるような方法があればと考えている。</p> <p>【委員】 母親へも視線を移し、サポートの方法を考えたい。ヒロロなど、子どもの集まる場所も提供されているが、母親や女性として自信が持てる、力になるような場が必要と感じており、具体的な何かがないかと考えている。</p> <p>【議長】 その他、ご発言やご意見ございますでしょうか。</p> <p>(発言無し)</p> <p>◀ 6. 閉会 ▶</p> <p>【司会】 以上を持ちまして、「令和2年度第1回弘前市子ども・子育て会議」を閉会いたします。</p>
その他必要事項	会議は公開